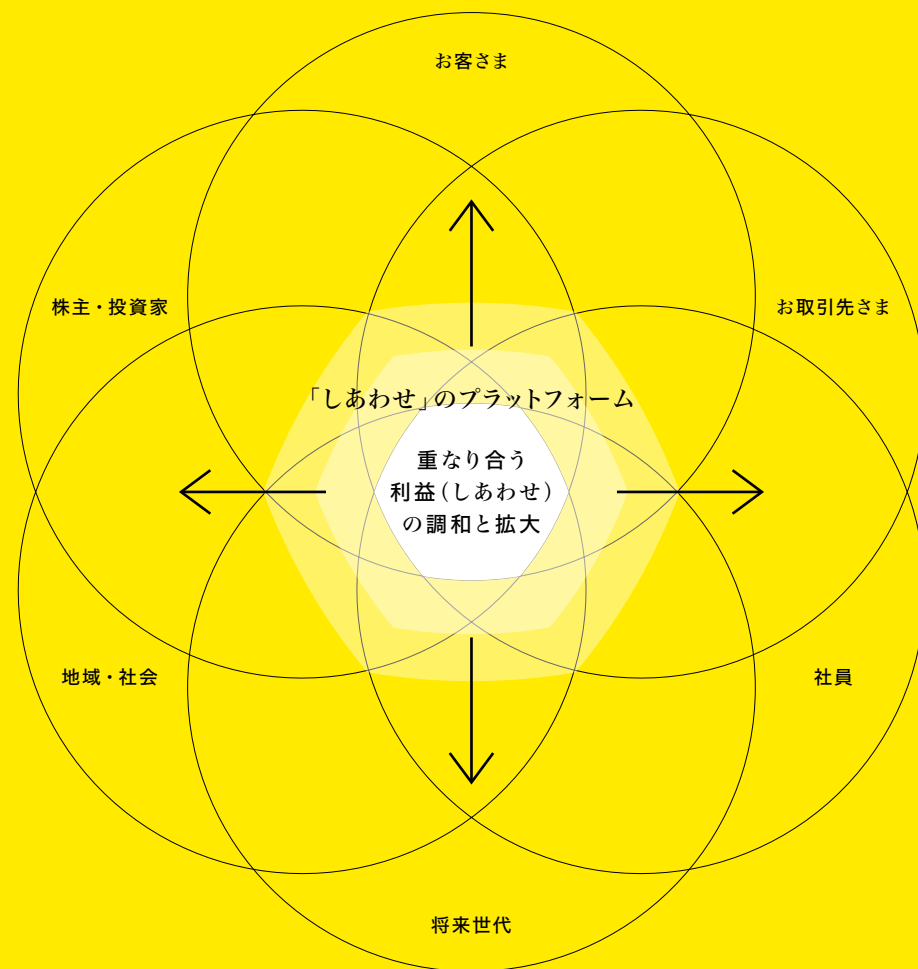


丸井グループの「企業価値」



「しあわせ」のプラットフォーム

新たな価値をつくっていく時、「場」という概念が大切になります。丸井グループという企業は、6つのステークホルダーの重なり合う利益(しあわせ)の調和と拡大を実現する「場」であり、そこに集う人の成長を支援する「場」です。私たちはこの「場」を運営することで、すべてのステークホルダーにとっての「しあわせ」を実現するプラットフォームになりたいと考えています。

1. MISSION

存在意義

丸井グループでは、企業としての存在意義を理念体系の中で明確化しています。どんなに優れたビジネスモデルや組織風土があっても、めざす姿が不明瞭だと日々の事業活動の指針がなくなり、進むべき道に迷いが生じてしまうからです。

⇒P26 丸井グループの共創理念体系

「しあわせ」の プラットフォームを 実現する3要素

2. BUSINESS

ビジネスモデル

存在意義を形にするのが、ビジネスモデルです。コアバリュー「信用の共創」を核に、創業から積み上げてきた強みを活用し、すべてのステークホルダーにとっての「しあわせ」を実現する「場」として、さらに革新・進化させていきます。

⇒P32 「信用の共創」を積み重ねる丸井グループのビジネスモデル

3. CULTURE

組織風土

明確な存在意義と、優れたビジネスモデルを実際に動かすのが、社員です。丸井グループには、自ら手を挙げる組織風土のもと、社員の成長・知識創造の「場」があり、そこから生まれる共感や対話が、企業の成長を可能にします。

⇒P60 共感や対話を通じて、「個の力」を「組織の力」へ